SHIBUKAWA CITY ASSEMBLY REPORT

市議会だより

しぶかわ

発　行◆渋　川　市　議　会
編　集◆渋川市議会報編集委員会

2026年〈令和8年〉
11月1日 第84号

広報と一緒にとじて保存しましょう


令和元年度創建200年祭の様子

表紙の写真：11月7日・8日の創建者150年大遠忌公演に向けて準備が進む上三原田の歌舞伎舞台

令和８年

９月渋川市議会定例会

■ 本会議のあらまし …… ２ページ
■ 常任委員会の審査 …… ３ページ
■ 令和７年度決算 …… ４～６ページ
■ 一般質問（１３人の議員が市政を問う） …… ８～１４ページ

令和8年

9月定例会

令和7年度決算を認定

あらまし

令和8年9月定例会は、8月28日から9月18日までの22日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告など報告4件のほか、条例の一部改正2議案、市道の廃止・認定各1議案、損害賠償に関する議案1議案、規約変更に関する協議1議案、令和8年度補正予算5議案、令和7年度決算10議案、請願2件、意見書提出に関する議員提出議案2議案、議員辞職勧告決議3件、懲罰動議1件を、一部を除き委員会に付託し慎重に審議・審査を行いました。いずれも原案のとおり同意・可決・採択・認定しました。

本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

公民館事業の主な対象区域の見直し

公民館の対象区域と小中学校の通学区域が渋川地区の一部で一致しておらず、公民館活動に支障が生じる場合があることから、区域を一致させるための改正で、全員一致で可決しました。

損害賠償の額を定めることについて

大雨により下水道管から雨水と汚水があふれ、飲食店に流れ込んだことについて、下水道管の詰まりが原因であったとして維持管理上の不備を認め、損害賠償を支払おうとするもので、全員一致で可決しました。

また、賠償を支払うための下水道事業等会計補正予算も全員一致で可決しました。

人権擁護委員の推薦を同意

3月に辞任した委員、12月に任期満了となる委員の後任に、伊藤信明氏、吉井浩氏、千明哲也氏を推薦するもので、それぞれ全員一致で可決しました。

令和8年度一般会計補正予算(第3号・第4号)

全員一致で可決しました。主な事業は次のとおりです。

物価高騰対策

①全市民に渋Payポイントを付与

物価高騰の影響を受けている市民生活支援のため、今年4月に配布した渋Payカードを活用し、全市民に3000円相当のポイントを付与するもの。

②市内農業者への支援

上昇する生産コストを農産物の価格に転嫁することが難しい農業者に対し、肥料費や飼料費等を一部支援する補助金を支給するもの。

地域の農業の担い手支援

地域の農業者に機械導入や施設設備等への補助金予算を増額するもの。

消防団の派遣に伴う補正

県消防ポンプ操法競技大会で優勝した市消防団第二分団が、東京都で開催される全国消防操法大会へ県代表として出場するため、分団員の旅費や資機材の整備費等を増額するもの。



全国大会へ初出場した第二分団

伊香保温泉石段の湯の給湯設備を改修

不具合が生じ、状態の悪化が懸念される給湯設備を改修するための特別会計補正予算で、全員一致で可決しました。

令和7年度決算を認定

一般会計決算、7つの特別会計決算、そのほか水道事業会計剰余金の処分および決算、下水道事業等会計決算についてすべて全員一致で認定しました(詳細は4ページ)。

教育福祉常任委員会の正副委員長の変更について

後藤弘一委員長が委員長職を辞任したことに伴い、新しい委員長に高野佳美議員、副委員長に加藤幸子議員がそれぞれ当選しました。

常任委員会の審査

常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では市から各事業の報告・説明を受けます。
各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

▲議案審査の映像はこちらからご覧ください

総務市民

審査結果 付託された2議案はすべて全会一致で可決しました。

総務市民常任委員会協議会

子持行政センター周辺整備

老朽化した子持行政センターの機能を子持公民館の増築・改修により移転統合しようとするものです。

質疑 令和2年度の設計を見直した理由は。

答弁 令和7年度に改正された建築基準法に適合させることや費用圧縮のため再設計することとなりました。

質疑 地域コミュニティの活性化を図る場とするならば、小中学校適正配置との調整も視野に入れてみては。

答弁 場所を変更しないことが市民の皆さまにとって分かりやすいと判断しましたが、地域コミュニティ活性化のためには今後教育部局とも調整を図る必要があると考えます。

質疑 利用者意見の反映は。

答弁 説明会では既に意見をいただいており、今後も聴取しながら可能な限り反映し整備を進めていきます。

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。

損害賠償の額を定めること

（内容は2ページ参照）

質疑 損害賠償額の妥当性はどのように判断したのか。

答弁 相手方が提出した見積書を損害保険会社が査定し、妥当と判断しました。

経済建設常任委員会協議会

中村緑地公園の利活用に向けた社会実験の実施

ドッグラン、ディスクゴルフなど比較的簡易な設備で運用できる施設の社会実験の実施が報告されました。

質疑 社会実験の時点から料金設定をすべきでは。

答弁 無料で実施し、多くの人に来場いただき、需要を見極めたいと考えます。


利活用が期待される中村緑地公園

市委託路線バスの運賃改定方針

人件費や燃料費の高騰に対応するための改定で、市民や利用者の意見も聞きながら手続を進める予定です。

教育福祉

審査結果 付託された1議案および請願2件はすべて全会一致で可決・採択しました。

渋川市公民館条例の一部を改正する条例について

現在条例で定めている公民館事業の主たる対象区域が、小学校および中学校の通学区域と一致していません。そのため、公民館活動に支障が生じる場合があり、要望等も出ているためすべてを一致させるよう改正しようとするものです。

教育福祉常任委員会協議会

渋川市保育所等適正配置方針の改定に向けた現状報告

保育施設の適正な児童数確保のため、民間保育所等が認定こども園に移行する場合は支援すること等が方針に追加されました。

今後の保育施設の廃止予定や廃止した場合の受け皿について等の質疑が行われ、跡地利用も検討するよう意見が出されました。

予算（補正予算）

審査結果 付託された4議案はすべて全会一致で可決しました。

電子地域通貨を活用した市民生活応援事業

全市民に対して渋Ｐａｙポイント３０００円相当を12月に付与するものです。

質疑 印刷製本費の使途は。

答弁 ポイント付与を周知するための圧着はがきの購入やその印刷等の費用です。

質疑 一定金額以上をチャージした場合に掛かる手数料について業者との交渉は。

答弁 契約に基づいて発生するものであり、改めて業者と交渉はしていません。

農業者の物価高騰対策支援

質疑 支援事業の具体的なきっかけと目的は。

答弁 燃料や肥料等の農業関連資材が高騰している一方で、生産コストの上昇を価格転嫁することが難しく経営上の負担が増加していることから、営農継続の支援を行うためです。

令和７年度決算を認定

令和７年度渋川市一般会計、７つの特別会計、２つの企業会計を３日間かけて決算特別委員会で審査を行いました。

自立支援給付事業

22億2341万円

事業内容　障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供



後期高齢者医療療養給付費



10億9627万円

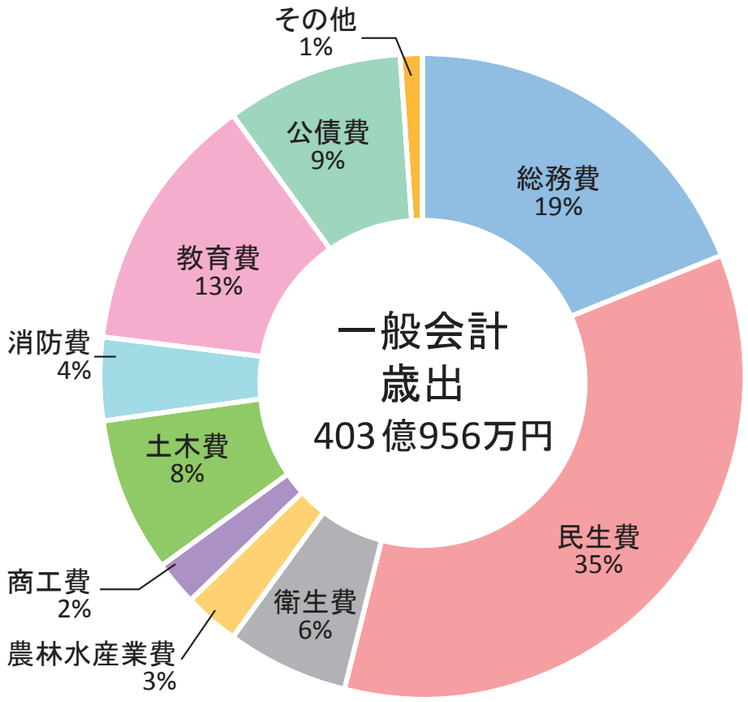
事業内容　後期高齢者に係る医療費（窓口負担を除く）の12分の１相当額を負担

教育・保育給付事業

18億7290万円

事業内容　民間教育・保育施設等に対し、教育・保育に要する費用を負担





児童手当支給事業

11億7589万円

事業内容　すべての子どもの育ちを支援するため、児童手当を支給



生活扶助費等給付事業



11億2602万円

事業内容　生活保護法に基づき、被保護世帯の自立や更生のための援助を実施

古巻公民館整備事業

10億5322万円

事業内容　本体工事・駐車場工事完了と整備に伴う備品購入

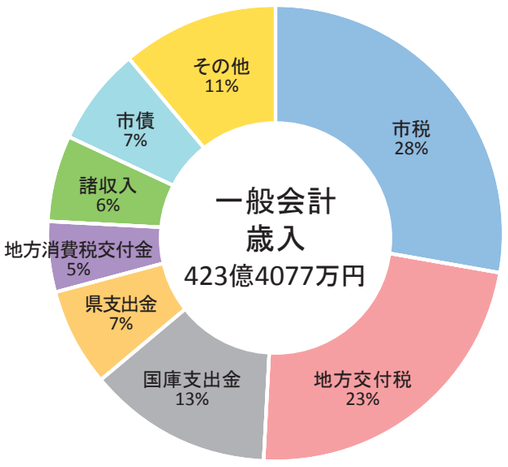


			歳　入	歳　出
一般会計			423億4076万5965円	403億955万2668円
特別会計	国民健康保険		84億3300万5751円	84億799万2419円
	後期高齢者医療		14億6786万3877円	14億6224万9615円
	介護保険		93億1281万4610円	92億2078万4098円
	農産物直売事業		240万5895円	240万5895円
	伊香保温泉観光施設事業		2億5955万1832円	2億3486万8538円
	小野上温泉事業		806万8701円	750万2208円
	交流促進センター事業		722万6214円	722万6214円
企業会計	水道事業	収益的収入・支出	20億1143万6092円	19億937万8659円
		資本的収入・支出	2億7870万4762円	10億9907万4300円
	下水道事業等	収益的収入・支出	25億1070万5021円	25億4927万8631円
		資本的収入・支出	19億5793万7547円	25億1930万5463円

一般会計　＋　特別会計　＋　企業会計

403億円＋193億円＋80億円＝676億円はどう使われたか？

決算審査の様子は６ページで詳しく紹介します



令和7年度 決算の審査

令和7年度渋川市一般会計決算、各特別会計決算は全会一致で原案のとおり認定しました。決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

▲議案審査の映像はこちらからご覧ください

一般会計

ネーミングライツ収入

質疑 ネーミングライツ対象施設とその収入金額は。

答弁 瑞穂建設スタジアム（総合公園陸上競技場）55万円、宮田商会武道館渋川（渋川市武道館）66万円、木暮組スポーツパーク赤城（赤城総合運動自然公園）44万円、JESCOアリーナ渋川（子持社会体育館）66万円です。

空家活用等支援事業

質疑 空き家解体事業補助金を受けて空き家が解体された土地の活用状況は。

答弁 アンケート結果によると、再建築による自己管理が8件、駐車場として自己管理が2件、売却が6件、地主への返却が2件、農地への転用が2件、未定14件、合計34件です。

公共交通で行くしぶかわエコ旅応援キャンペーン事業

質疑 事業の実施効果は。

答弁 9月からの第1弾、1月からの第2弾で合計91日間実施し、837人が利用しました。付与した渋Payポイントの総額は251万1000ポイントで、そのうち利用は239万7490ポイントです。

住宅エコリフォーム支援事業

質疑 補助申請のあった工事の内訳は。

答弁 屋根のふき替え・塗装14件、外壁の張り替え・塗装31件、サッシ等の取り付け・交換40件、内装の張り替え・塗装等8件、給排水・衛生設備工事76件、空気調和設備工事2件、電気設備工事1件です。

あおぞら美術館推進事業

質疑 事業が完了したが、予算額1320万円に対し、約500万円の不用額が生じた理由は。

答弁 市道駅前通り線における彫刻の台座の基礎工事を、歩道舗装補修工事に併せて実施したことにより、費用が削減できたことが大きな要因です。


市道駅前通り線を彩る彫刻

特別支援教育支援員配置事業

質疑 当初予算から約358万円増額補正したにもかかわらず、約551万円の不用額が出た理由は。

答弁 支援員の報酬に関し、年度当初に予定していた配置ができず、年度途中の任用が9人いたことや、号給差の差額が生じたためです。

特別会計

介護保険特別会計

特別徴収・普通徴収保険料

質疑 特別徴収保険料現年度分の支払い人数、収入後の還付未済の人数は。また、普通徴収保険料現年度分の支払い人数は。

答弁 特別徴収保険料現年度分の支払いは2万4869人、収入後の還付未済は214人です。また、普通徴収保険料現年度分支払いは1998人です。

国民健康保険特別会計

子育て世帯支援事業

質疑 国保加入世帯の子どもの均等割相当額を支給する事業だが、昨年度の対象世帯数や申請者数は。

答弁 658世帯を見込み、申請は606世帯、人数は未就学児228人、7歳から18歳までが810人です。

国保あかぎ診療所

質疑 あかぎ診療所の在り方検討委員会の開催状況は。

答弁 在り方検討委員会は昨年度は開催していません。


利活用が待たれる国保あかぎ診療所

交流促進センター事業特別会計

質疑 SUNおのがみなどの稼働していない施設の維持管理に毎年約700万円掛かっている。今後の方向性や進ちょく状況は。

答弁 令和5年度から令和7年度にかけて無償譲渡の公募を2度行いましたが、譲渡に至りませんでした。今後の方針については、あらゆる可能性を排除せず、譲渡を受ける法人の利益となる方法を検討しています。

※地方自治法第１３２条：普通地方公共団体の議会の会議又は委員会においては、議員は、無礼の言葉を使用し、又は他人の私生活にわたる言論をしてはならない。
※渋川市議会会議規則第１５１条：議員は、議会の品位を重んじなければならない。

全議員の市税の納税状況に関する証明書の公表

山内議員が市税等を滞納し差押処分を受け、議会に対する市民の信頼が大きく失墜したとして、信頼回復に努めるため、全議員が納税状況に関する証明書を任意提出により公表することを３つの会派が要求し、議員全員協議会で協議しました。個人情報の問題や、宣誓書で足りるとの反対意見があり、８人の議員が退席した中で採決し、全会一致で次のことを決定しました。

①各議員に無処分証明書（過去3年以内に市税の滞納処分を受けたことがないことを証明するもの）、滞納のない証明書（納期限を経過している市税の滞納がないことを証明するもの）の任意提出を求めること

②証明書を提出した議員の氏名や処分の有無および滞納の有無を公表すること

③公表は議会だよりや市議会ホームページへの掲載、議長記者会見にて行うこと

証明書等の提出状況一覧

○：提出

	中澤　功史	埴田　裕之	高野　佳美	髙澤　幹	福島　丘泰	後藤　弘一	反町　英孝	板倉　正和	田村なつ江	田中　猛夫	山内　崇仁	田邊　寛治	安カ川信之	加藤　幸子	茂木　弘伸	須田　勝	望月　昭治	角田　喜和
無処分証明書(過去３年間に滞納処分がないこと)	○		○		○	○	○	○					○	○	○			○
滞納のない証明書(現在滞納がないこと)	○		○		○	○	○	○					○	○	○			○
宣誓書（過去３年間に滞納がないこと）		○		○					○	○		○				○	○	
宣誓書（現在滞納がないこと）		○		○					○	○	○	○				○	○	

※証明書は納税課で発行されたもので、宣誓書は議員が作成・署名したものです

３人の議員に対し議員辞職勧告決議を提出

９月18日に３人の議員に対し議員辞職勧告決議案が提出され、いずれも賛成多数で可決しました。

山内崇仁議員は「市税等を滞納し複数回の差し押さえを受けたが十分な説明がない件」に対し、須田勝議員と後藤弘一議員は「懇談会でもみ合いの末、互いに傷害罪で告訴した件」に対し、いずれも議会の信頼を損なう行動であったと判断し提出されました。決議の概要は次のとおりです。

山内崇仁 議員

督促等を受けながら市税等の滞納を繰り返し、複数回の差し押えに至ったことは極めて重大である。さらに税の種類や滞納の詳細について十分な説明を行わず、新聞報道をもって市民に対する説明責任を果たしたような認識を示し、その後納得のいく声明を明らかにしていない。こうした一連の行為とその後の不誠実な対応は、議員としての責任意識および政治倫理観を著しく欠くため、本件の重大性を真摯に受け止め、自らの政治的・道義的責任を明確にするため速やかに自らの意思により議員を辞職することを強く勧告する。

須田　勝 議員
後藤弘一 議員

星名建市後援会の開催する懇談会に出席し、懇談会において互いに暴力により傷害を受けたと告訴した。この事件は、新聞等で報道され広く市民の知るところとなった。この告訴は嫌疑不十分として不起訴となったが、両議員の行為は議員としての資格が問われる事件である。また、このことにより市民の市議会への信頼を著しく損なうこととなった。よって、本件の重大性を真摯に受け止め、自らの政治的・道義的責任を明確にするため、速やかに自らの意思により議員を辞職することを強く勧告する。

田邊寛治議員に対する懲罰動議を可決

田邊寛治議員が９月９日の一般質問の中で市長、副市長、教育長および議員等に関する不適切な発言を行ったとして、懲罰を求める動議が提出され懲罰特別委員会が設置されました。

委員会での審査結果は「懲罰を科すべきものと認める。」となり、懲罰処分の種類および内容は「公開の議場における陳謝」とされ、９月18日の本会議の議決を経て田邊議員が陳謝文を朗読しました。懲罰を科することが相当と判断された理由は次のとおりです。

対象となった発言内容は４つあり、いずれも個人に対し否定的な印象や誤解を招く恐れが十分にあり、意見や批判の発表に必要な限度を超えた無礼の発言であって、議会の品位をおとしめるものとして、地方自治法第１３２条※および渋川市議会会議規則第１５１条※に違反すると認めたため。

令和８年９月定例会

一般質問 ～13人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトルおよび質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問とは？
皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

加藤　幸子　議員	P 8	埴田　裕之　議員	P 9
田中　猛夫　議員	P 9	中澤　功史　議員	P 10
田邊　寛治　議員	P 10	角田　喜和　議員	P 11
後藤　弘一　議員	P 11	須田　　勝　議員	P 12
高野　佳美　議員	P 12	髙澤　　幹　議員	P 13
茂木　弘伸　議員	P 13	田村なつ江　議員	P 14
福島　丘泰　議員	P 14		

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。映像は各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。



加藤　幸子

市民の生活を守るために

質問　酷暑から命を守るために、生活保護世帯へエアコン設置費用の助成を行う考えは。

市長　生活保護制度に基づき適正な支給が求められていることから、市独自に助成を行うことは慎重な判断が必要と考えています。

質問　高齢者の認知症予防と健康的な生活の実現のために、補聴器購入費助成金を引き上げる考えは。

福祉部長　補聴器の購入価格帯として10万円台のものが一番割合が多いことから、現状の補助額を継続しつつ、他市の動向も注視しながら事業を実施していきます。

質問　10月1日から労働施策総合推進法が改正されるが、ハラスメント条例を設置する考えは。

市長　現段階では考えていません。まずは有効な取り組みを継続することで、ハラスメントのない環境づくりに努めたいと考えています。

PFASから市民を守るために

質問　安全な水の確保と提供は行政の義務であるが、新浄水場完成までの6年間、PFASに汚染された水を飲む子どもたちへの対策の重要性をどう認識しているのか。

市長　子どもたちの健康を守ることは大変重要と認識しています。引き続き、安心して子育てできる環境を整えていこうと考えます。

質問　行政の真の公平性を保つため、PFAS汚染地域の住民の浄水器カートリッジ購入費用の補助や水道代の減免を行う考えは。

上下水道局長　水道法の決まりを満たす水道水であり、市民全体の公平性を確保する観点から、補助や減免は難しいと考えます。



酷暑から命を守るエアコン

一般質問



埴田　裕之

安心安全な市民生活と適正な行政業務

子持行政センター周辺整備事業

質問　要望がかない、令和10年度から11年度に公民館増築等の工事が実施され、令和12年度から移転統合した子持行政センターと子持公民館の供用が始まる予定。公民館を利用する各種クラブや地元の市民、自治会長の皆さまの要望等を聞き設計に生かすことは可能か。

総務部長　ご意見をお伺いする手法や機会について検討し、実行したいと考えています。要望等は内容を精査し、設計に反映可能なものは、生かしたいと考えています。

質問　吹屋交番前の道路が未舗装だが、本稼働の令和12年度までに仮舗装等で全面的な補修は可能か。

総務部長　現子持行政センター庁舎解体後に整備を予定しているため、路面の傷み等を確認し、穴埋め補修等の対応を適宜考えます。

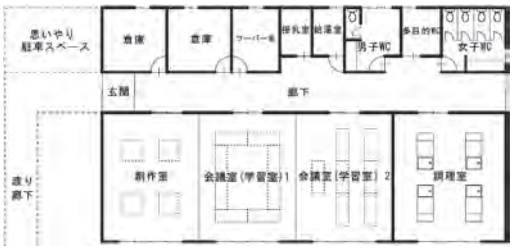
小中学校適正規模・適正配置

質問　提示された2つの方針では、赤城地区から中学校がなくなってしまう。旧町村に小中学校は必要と考える。旧町村ごとに小中一貫校を設置する考えはあるか。

教育長　基本計画の素案にも想定をしており、各地区への設置については、さまざまなご意見を集約し検討しているところです。

質問　小中学校の再編後も北橋中学校の体育館は使用する予定だが、雨漏りの問題が解決していない。雨漏りを解消するための抜本的な対応が必要と考えるが見解は。

教育部長　修繕により改善され、経過観察をしていましたが、大雨で再発した個所があるため、引き続き雨漏り改善を図る予定です。



子持公民館増築棟イメージ図
市民要望が設計に反映される事を期待



田中　猛夫

冷房設備と企業誘致

避難所に冷房設備を

質問　避難所に指定された小中学校体育館の冷房設備の設置状況は。

教育部長　市内小中学校23校の屋内運動場について、今年度各学校に2台ずつスポットクーラーを設置しましたが、冷房設備は現在ありません。

質問　冷房設備の設置は、小中学校適正配置基本計画の策定後に方針を決定するとしているが、令和17年度までに完了させる考えは。

教育部長　適正規模・適正配置基本計画の策定時期は今年度中を目指しており、この計画も考慮しながら、可能な限り早期に着手できるよう準備し、国の目標も目指して進めていきたいと考えます。

質問　令和9年度予算編成の中で検討され予算化されるのか。

教育部長　財政負担を抑えながら実施する必要があるため、国の補助事業の見通しが立ち次第、速やかな事業化を目指します。

進まない企業誘致

質問　企業団地の建設が進まない。企業団地造成計画策定の課題は。

商工観光部長　接続道路や上水道等のインフラ整備、造成工事などに多額の整備費用が掛かるほか、農林調整などに時間が掛かることなど課題が多くあります。

質問　具体的な進出計画があるが調整が進んでいない。市が関与、調整し企業誘致を進める考えは。

商工観光部長　引き合いがあった場合には紹介可能な民間物件の情報提供や、各種法手続や支援制度の紹介等をすることで企業誘致の促進を図っています。



避難所に指定される小中学校体育館



中澤　功史

持続可能な渋川を創ろう

認知症と優しいまちづくり

質問　認知症の方に優しいデザインは、みんなに優しいユニバーサルデザインでもある。新庁舎建設のタイミングで、市が「認知症の方にも優しいデザイン」をガイドラインとして示し、市全体で統一的な整備を進める考えは。

福祉部長　市では高齢者等が暮らしやすい生活環境の整備を推進しており、他市の状況も参考にして、誘導サイン等も考えていきます。

地域と共にある学校の在り方

質問　小中学校適正規模・適正配置を通し、本市が目指す学びの実現に、国が示した規模が必要とされる積極的な理由や根拠は何か。

教育部長　国の標準規模の考え方や手引きなどを踏まえ、庁内や外部有識者による検討委員会において協議し、また教育現場の声を参考に独自の基準設定をしています。

質問　小中学校の統廃合は子育て世代の声を聴く積極的な姿勢が必要である。そのために当初の予定どおり2年をかけて基本計画を策定すべきと考えるが市長の考えは。

市長　子どもの数の激減や施設の老朽化等は喫緊の課題であるため、情報共有をし、意見を交わしながら進めていきたいと考えます。

質問　中学校の再編を先行させ、地域コミュニティの核となる小学校は統合を緩やかに進めるなど段階的な適正規模・適正配置を検討すべきと考えるが教育長の考えは。

教育長　段階的な推進は十分考えられると思います。各地区の話し合いでの意見を受け止め、柔軟に対応をしながら進めていきます。



認知症月間イベントの展示パネルより
本人の声を生かすまちづくりを進めよう



田邊　寛治

渋川市政の威厳とは　指定管理と不祥事対応

質問　指定管理の現状と課題は。

総合政策部長　指定管理施設の総数は15施設で、指定管理料の総額は約5億9700万円です。課題は、収支に影響を及ぼす利用の減少対策と建物の老朽化対策です。

質問　赤字が続いている道の駅おのこの収支改善策は。

農政部長　食堂の価格改定や食材の仕入先変更、直売所の他地区出荷者受け入れ、SNSによる情報発信等に取り組んでいます。

質問　渋川市のコンプライアンスおよびガバナンスの状況は。

総務部長　内部統制を導入し適正な事務執行に努めています。また、職員を対象に各種研修等を開催しコンプライアンスの向上とリスクヘッジを図る対策を講じています。

質問　市の不祥事が起きた際には、どのように対応しているのか。

総務部長　まずは事実を確認し、市長から行政処分審査委員会に諮問をした場合には、その答申を受け、懲戒処分等を実施します。

質問　組織の管理者としての倫理観と対応、責任の取り方は。

市長　最高責任者として、倫理観では権限を持つが故に廉潔性と公平性を徹底すること、不祥事発生時には信頼回復に向けた対策を速やかに行うことと考えます。

副市長　それぞれ市民全体のための行政を推進するため透明性と公平性を維持すること、結果に対して自ら責任を持つことと考えます。

教育長　教職員の監督者として不祥事の実態把握と原因究明、児童生徒の心のケア、再発防止策を早急に検討し説明責任を果たします。



渋川市政の威厳

一般質問



角田　喜和

学校の存続で地域文化の継承を

質問　津久田小学校の児童が津久田人形「傾城阿波の鳴門」を上演するが、このような地域文化の継承には地域に学びの場が必要である。適正規模・適正配置の方針では赤城地区に小中学校がなくなる可能性があるが、小学校は残してほしいという地域の声がある。地域説明会では地域の意見を尊重すると説明しているが間違いないか。

教育長　上三原田の歌舞伎舞台などが小学校で引き継がれていますが、地域の伝統文化に子どもたちが関わることは重要です。統廃合は学校現場や地域の声を聞きながら進め、子どもを中心に文化を引き継げるような体制づくりを考えていきたいと思っています。

質問　幼児期と児童期の教育の連続性・一貫性を確保することが重要である。架け橋プログラムにどのように取り組んでいるのか。

教育部長　園で培った資質・能力が小学校の学びの基礎としてどうつなげるか連携するための研修会を開催し、幼児教育と小学校教育をスムーズにつなぐために、架け橋期のカリキュラムを活用して教育の連続性を確保しています。



津久田小人形クラブの練習風景

質問　旧赤城キャンプ場のトイレ等の解体は、議会の附帯決議を重く受け止め関係部局と協議し方針を決めるとの回答だったが結果は。

商工観光部長　ヒメギフチョウ保護活動に関する事業の実施状況および解体後の活用を再度協議した結果、トイレ棟、炊事棟、これに付随する施設を存置し、所管を教育委員会に移管し、ヒメギフチョウ保護活動において利活用します。



後藤　弘一

市民生活の安全安心

河川の安全と活用

質問　国道291号の吾妻橋上下流域の中州では、土石の堆積や雑木の繁茂が見られるがこの状況を把握しているのか。また、県とどのように連携しているのか。

建設交通部長　市は現地状況を継続的に把握し、安全確保に向けて県と情報共有や現地調査を行うとともに、必要な対策の早期実施を県に強く働きかけ、市としても適切な対応に努めてまいります。

質問　清流祭りは今年度中止だが、来年度以降開催する予定はあるか。

建設交通部長　駐車場の確保などの課題があり、会場選定が困難な状況です。安心・安全な会場を確保するため、清流祭り実行委員会と協力して検討していきます。

市職員の働きがい・働き方改革

質問　市長と全職員との面談は、どのような方法で実施されたのか。

市長　課長から主事級職員の約660人を対象に、20人程度に分けて36回行いました。仕事に自負を持って欲しいことを伝えたほか、自己紹介、意見交換を行いました。

質問　職員からは、どのような意見や要望があげられたのか。

市長　エレベーターの位置、子どもの遊び場の設置など新庁舎に関する意見が多いほか、人事関係などさまざまな意見がありました。

全国学力テスト

質問　結果から見えた課題は。

教育部長　質問調査の「分からないことがあれば、自分で学び方を工夫していますか」という質問で否定的な回答者は、各教科の平均正答率が低くなる傾向でした。



心配な河川の土砂と雑木



須田　勝

オール渋川・チーム渋川・1年

しぶかわ回生の進ちょく

質問　星名市長が就任し1年が経過した。「しぶかわ回生、そして前へ」戦略の進ちょく状況は。

市長　7つの戦略の進ちょく状況ですが、就任1年というところですので、大きく前進という訳にはまいりませんが、すべての戦略において進ちょくを図ることができたと考えます。今後も公約の実現に向け「オール渋川・チーム渋川」を合い言葉に全庁を挙げて着実に進めていきたいと考えています。

質問　人口減少対策として、婚活課設置、各地域に結婚相談員を。

市長　現時点では、婚活専門の所属を設置する考えはありませんが、結婚相談員の件を含め、行政としてできる支援を研究していきます。

赤城地区の地域振興

質問　赤城地区で地域振興を考える会による住民説明会が開催されたが、市長は知っていたのか。また、地域団体が自主的にこのような取り組みを行うことを市長はどのように考えているのか。

市長　説明会の開催は承知しています。地域の課題は行政だけで解決できるものではなく、地域の皆さんが自主的に将来を考え意見を交わす取り組みに敬意を表します。

自治会の再編統合

質問　近年人口減少が進み空き家が増える中、自治会活動が「ままならない」状況であるが、再編統合に向けた検討を行う考えは。

市民生活部長　再編統合を後押しする体制や環境を整備し、持続可能な自治会運営および活動の推進に向けた支援を行っていきます。



オール渋川・チーム渋川の進ちょく



高野　佳美

持続可能なまちづくりに向けて

猛暑時の避難環境と要配慮者支援

質問　熊本地震を踏まえた本市の課題は。また、猛暑時を想定した避難環境の確保と車中避難者への支援にどう取り組んでいくのか。

市民生活部長　課題は暑さ対策と車中または在宅避難者の把握で、住宅および水道施設の耐震化の促進が重要と考えます。現在実施している避難所開設運営訓練では、暑さへの対策は想定できていませんし、車中避難者の専用エリアの指定も行っていませんが、災害応援協定によりダイナム様から駐車場とトイレが提供されます。

質問　本市における医療的ケア児の個別避難計画の作成状況は。

福祉部長　災害に備える災害時個別プランの作成対象となる医療的ケア児は、市内に1人おり、渋川保健福祉事務所にて作成済みです。

質問　医療機器を使用する方への電源確保等の重要性を踏まえ、安心して避難できる体制の充実にどのように取り組むのか。

市長　重要な課題であるとの認識の下、市が避難行動を直接支援できなくても安心してもらえる環境をつくれるよう支援を検討します。

ふるさと納税と自主財源確保

質問　本市の令和7年度ふるさと納税の寄附額は約3億5000万円だが、全国上位の自治体は200億円を超えている。自主財源確保と地域経済の活性化のため、さらに活用を拡大させていく考えは。

市長　ふるさと納税は貴重な財源です。引き続き市内の事業者と連携し、より多くの人に関心を持ってもらえるよう努めていきます。



自主財源確保に向けて
ふるさと納税返礼品の見直しを

一般質問

※匿流：正式名称は「匿名・流動型犯罪グループ」で、指示役が匿名で、実行役が流動的に入れ替わりながら犯行を行う集団のことです。



髙澤　幹

やすらぎとふれあいに満ちたほっとなまち渋川市

子どもたちの望ましい学び

質問　学びの多様化学校、校内支援センター、通級指導教室等子どもが選択できる学習環境の整備を。

教育部長　障害の有無に関わらず共に育つ教育環境を目指し個々の教育的ニーズに応じた支援の充実のための取り組みを進めています。

質問　適正規模・適正配置の決定前の通学バス利用基準の見直しは。

教育部長　本市の距離基準は、国や県内他市に比べても利用者の拡大を図り運用している状況であり、基準は妥当と考えています。

質問　適正規模・適正配置に関し子どもの声を聞き反映する考えは。

教育長　令和5年度にアンケートを取ったのが最後ですので、こんな学校に通いたいなど、子どもたちの意見を聞きたいと思います。

防災

質問　地域防災力向上につながる自主防災リーダーの養成・研修は。

市民生活部長　自主防災リーダー会は会員が中心となって活動していることから、研修等の実施は会と検討していきます。

質問　公共施設の建設・改修の際、防災観点からの助言はしているか。

市民生活部長　施設の改修等は設置目的に沿って行われるものですが、今後は防災部局が計画段階から関われるよう検討します。

市民目線の施設管理

質問　本庁舎授乳室は、安心して授乳ができる環境だと考えるか。

市長　安心して利用できる状況にはないと思います。利用者のプライバシー等に配慮した環境とすべく新年度に向け検討していきます。



子どもたちの学びと地域の未来を大切にした学校づくり



茂木　弘伸

安全で安心なまちづくり

質問　信号機や横断歩道などの設置要望はどのくらいあるのか。

市民生活部長　昨年度の要望件数は横断歩道関連が8件、一時停止線設置が2件、押しボタン式信号機設置が1件の合計11件で、市として渋川警察署へ要望しました。

質問　上信自動車道の藤ノ木東交差点は事故が多発しているが、どのような安全対策をしているのか。

建設交通部長　信号機の表示改良や区画線の引き直しなど、各関係機関が所管する多角的な安全対策を連携して推進していきます。

地域の防犯対策について

質問　昨年度の市内の刑法犯認知件数と詐欺被害発生件数は。

市民生活部長　刑法犯の認知件数は481件で高止まりです。詐欺被害件数は3件で前年より減少しましたが被害額は増えています。

質問　近年問題の匿流※犯罪や詐欺被害防止の防犯対策支援の実績は。

市民生活部長　防犯カメラやカメラ付インターホンなど防犯機器購入費補助は324件、詐欺被害防止電話機購入費補助は86件です。

市の自然環境を守る

質問　市内のクビアカツヤカミキリによる被害状況は。

農政部長　昨年度の調査では16本の被害が確認されており、内訳はサクラ1本、ウメ1本、モモ6本、スモモ2本、その他6本です。

質問　被害が広がる前の対応が必要だが現在行っている市の対策は。

農政部長　民有地の被害木の所有者に対しては防虫ネットや薬剤などの無償配布、市有施設においても早期防除を実施しています。



藤ノ木東交差点で事故多発、改善急げ

※KPI：Key Performance Indicatorの略で、最終目標を達成するためのプロセス（中間目標）の達成度合いを数値で測る「重要業績評価指標」のことです。



田村なつ江

市民の生活環境の向上

高齢者等の移動支援

質問　これまで、高齢者タクシー利用券には一回の使用枚数制限があったが、自由化されたのか。

建設交通部長　令和８年度においては、一回の乗車で使用できる枚数について、制限をしていません。

質問　紙のタクシー利用券を残すなど利用者が選択できる制度にすることを提言するが、市の見解は。

市長　公共交通の持続性の観点も重要であるため、紙のタクシー利用券とキャッシュレス化との両立を図りながら、多様なニーズに応えられる施策を検討します。

質問　デマンドバス「しぶのり」は、今後利用者の声を踏まえて乗降場所を見直していく考えは。

建設交通部長　乗降場所の設置要望は、随時受け付けています。今後も利用者の声を踏まえて増設し、利便性の向上に努めます。

道路の維持管理

質問　通学路でもある子持地区の県道渋川東吾妻線に毛虫が大量発生している。県と連携し必要な対応につなげていく考えは。

建設交通部長　市と県が緊密に連携し、毎年度の毛虫対策について情報共有を図り、地域住民の安全安心の確保に努めます。



渋川市高齢者タクシー利用券

農地バンク活用による税制優遇

質問　農地を農地バンクに貸し付ける場合の優遇制度や相談体制は。

市民生活部長　10年以上の貸付期間では、貸付農地の固定資産税等が3年間2分の1に軽減されます。

農政部長　農地の貸し借り等の相談を受けた際、市税の優遇制度についても説明しています。



福島　丘泰

情報・人・拠点をつなぎ、持続可能な渋川をつくる

公民館人員配置の客観指標化と地域拠点の再設計

質問　公民館職員配置の妥当性を検証するため、現在、配置基準の客観指標化の運用は行っているか。

教育部長　公民館の職員はその公民館の設備の設置状況等により対応できるよう配慮しており、客観指標化は行っておりません。

質問　新設された古巻公民館を単なる施設の建設ととらえず、地域経営拠点とし展開していく考えは。

総合政策部長　古巻公民館を地域課題に対応する拠点の一つととらえ、南部地域全体の在り方を関係所属と連携しながら検討します。

行政情報戦略による市民サービスの向上と行政改革の推進

質問　行政情報をただ発信するだけではなく、その効果を検証し業務改善につなげられているか。

総合政策部長　市公式ＬＩＮＥによるはたちを祝う会オンライン参加手続では受付事務の簡素化や人数集計の迅速化につながりました。

質問　生成ＡＩの活用は業務を効率化し行政サービスの質を向上させると考えられるが、活用方針は。

総合政策部長　生成ＡＩサービスは、業務の効率化、生産性の向上、コストの削減などに寄与するため、業務を限定することなく、積極的に活用していく方針です。

質問　成果指標やＫＰＩ※による検証や改善を行う「行政情報戦略」を行政経営に位置付ける考えは。

市長　広報広聴戦略プランに定める、情報発信から伝達状況確認、効果測定を経て、新たな情報発信を行う流れの確立に取り組みます。



情報発信から地域拠点まで
人がつながるまちづくりへ

行政視察報告

総務市民

日程　7月22日～23日
場所　愛知県知多市
　　静岡県焼津市

家庭系収集ごみの有料化

知多市では、家庭系収集ごみの排出量の多さとごみ処理費用の増加という課題解決に向け、5年間かけて丁寧な市民周知と説明会での合意形成を行い、家庭系収集ごみを有料化しました。

導入後は、ごみの排出量が約16％減少したほか、手数料収入をごみ減量化の啓発活動やごみ処理施設の整備費用などに充てることで、持続可能なごみ処理体制の構築につなげています。

消防団ドローン隊

焼津市では、迅速な火災・災害時の情報収集を目的に、市職員で構成されたドローン隊に続き、消防団でもドローン隊を発足させました。市役所の閉庁日である土日祝日の災害発生時に出動し、火災時の延焼方向の確認や熱源の探知、土砂災害時のがけ崩れ調査などで大きな成果を挙げています。現場の安全確保や初期対応に極めて効果的であり、地域防災力の向上に向け、本市にとって非常に参考となる取り組みでした。



行政視察　上：総務市民常任委員会
　　下：教育福祉常任委員会

教育福祉

日程　7月15日～16日
場所　岩手県紫波町
　　宮城県白石市

子育て支援の取り組み

紫波町の子育て応援センター「しわっせ」は、明るく開放的な施設が大変印象的で、多くの親子が気軽に訪れ、安心して過ごせる環境が整っていました。子育て世代に寄り添った居場所づくりの大切さを改めて感じました。

学びの多様化学校

白石市では、不登校の児童生徒の新たな学びの場である学びの多様化学校、「白石きぼう学園」を視察しました。一人一人の思いを尊重し、子どもたちが主体となって自分に合った環境で学び、安心して過ごせる学校づくりを行っていることが印象的でした。また、学校に行けない子ども自身だけでなく、その子どもを支える保護者の気持ちにも寄り添う学校の姿勢から、家庭も含めて支えていくことの重要性を感じました。

本市の子育て支援および一人一人に寄り添った教育環境のさらなる充実を目指して、今回の視察で得た知見を今後の活動に生かしてまいります。

議会往来

5月

▽19日　茨城県坂東市議会が視察来庁（渋川市議会ハラスメント防止条例）

▽26～27日　経済建設常任委員会が長野県長野市、長野県松本市を行政視察（鳥獣被害対策とジビエ加工センター、松本・高山高付加価値化マスタープラン）

7月

▽10日　鹿児島県鹿児島市議会が視察来庁（インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援）

▽15～16日　教育福祉常任委員会が岩手県紫波町、宮城県白石市を行政視察

▽22日　京都府舞鶴市議会が視察来庁（病院機能の再編・統合）

▽23日　福井県敦賀市議会が視察来庁（国立病院機構西群馬病院と渋川市立渋川総合病院の統合）

▽22～23日　総務市民常任委員会が愛知県知多市、静岡県焼津市を行政視察

令和８年９月定例会において賛否の分かれた表決結果一覧
（そのほかの議案はすべて全員賛成）

○：賛成　●：反対

	中澤　功史	埴田　裕之	高野　佳美	髙澤　幹	福島　丘泰	後藤　弘一	反町　英孝	板倉　正和	田村なつ江	田中　猛夫	山内　崇仁	田邊　寛治	安力川信之	加藤　幸子	茂木　弘伸	須田　勝	望月　昭治	角田　喜和	
田邊寛治議員に対する懲罰の件	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	●	除斥	／	○	○	●	●	○	可決
山内崇仁議員に対する議員辞職勧告決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	／	○	○	●	●	○	可決
須田勝議員に対する議員辞職勧告決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	／	○	○	除斥	●	○	可決
後藤弘一議員に対する議員辞職勧告決議	○	○	○	○	○	除斥	●	○	○	○	○	○	／	○	●	○	○	○	可決

※安力川議長は表決には参加せず、可否同数の場合のみ裁決します。

令和８年９月定例会の審議結果

市長専決処分の報告について

○和解及び損害賠償の額を定めることについて（３件）

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決

○渋川市公民館条例の一部を改正する条例
○渋川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決

○令和８年度渋川市一般会計補正予算（第３号）
○令和８年度渋川市一般会計補正予算（第４号）
○令和８年度渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算（第１号）
○令和８年度渋川市小野上温泉事業特別会計補正予算（第１号）
○令和８年度渋川市下水道事業等会計補正予算（第１号）

懲罰動議・・・・・・・公開の議場における陳謝

○田邊寛治議員に対する懲罰の件

決　　議・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決

○山内崇仁議員に対する議員辞職勧告決議
○須田勝議員に対する議員辞職勧告決議
○後藤弘一議員に対する議員辞職勧告決議

令和７年度決算・・・・・・・・・・・・・認　　定

○令和７年度渋川市一般会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市介護保険特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市農産物直売事業特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市小野上温泉事業特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市交流促進センター事業特別会計歳入歳出決算について
○令和７年度渋川市水道事業会計剰余金の処分及び決算について
○令和７年度渋川市下水道事業等会計決算について

報　　告

○令和７年度渋川市一般会計継続費精算報告書の報告について

請　　願・・・・・・・・・・・・・・・・採　　択

○義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを図るための、2027年度政府予算に関わる意見書採択の請願について
○ゆたかな学びの実現・教職員定数改善を図るための、2027年度政府予算に関わる意見書採択の請願について

意　見　書・・・・・・・・・・・・・・・原案可決

○義務教育費国庫負担制度拡充に関わる意見書
○豊かな学びの実現及び教職員定数改善に関わる意見書

そ　の　他・・・・・・・・・・・・・・・原案可決

○群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について
○市道の廃止について
○市道の認定について
○損害賠償の額を定めることについて
○人権擁護委員候補者の推薦について(３件)

令和８年12月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1	2	3	4	5
	本会議（開会・議案上程）LIVE	本会議（議案上程）LIVE	一般質問 LIVE	一般質問 LIVE	一般質問 LIVE	
6	7	8	9	10	11	12
	常任委員会（総務市民）（経済建設）	常任委員会（教育福祉）	常任委員会（予算）	休会	本会議（表決・閉会）LIVE	

○ LIVE … インターネット中継あり。各委員会は録画配信します。
○本会議は午前10時から開会します。
○日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

次回の市議会だよりは、通例の発行日である２月１日が選挙期間中のため、公正性や公平性の観点から、３月１日に発行します。

編集後記

９月定例会では、より良いまちづくりに向け令和７年度決算の審査や一般質問が行われました。補正予算では、渋川市消防団第二分団の全国大会出場に伴う予算を可決しました。また、議場での発言に対し懲罰が科され、市税の滞納や議員同士の暴力による傷害で互いを告訴した件の議員辞職勧告決議が可決されました。これらを重く受け止め、今後も誠実に活動し市民の信頼に応える議会を目指していきます。

（編集委員　福島　丘泰）

議会報編集委員会

委員長　中澤　功史
副委員長　埴田　裕之
委員　高野　佳美
委員　福島　丘泰
委員　後藤　弘一
委員　山内　崇仁
委員　角田　喜和
委員　板倉　正和

VEGETABLE OIL INK
植物油インキを使用しています。
環境にやさしい